

# CONTENTS

## 産業保健ストラテジー シリーズ

### 第5巻 職場巡視ストラテジー 目次

ストラテジーシリーズ緒言 .....	v
はじめに .....	vii

## 1章 職場巡視の意義と基本的な考え方 ～なぜ職場巡視をするのか 産業保健の目的と職場巡視～

1節 職場巡視は産業保健活動における原点 .....	2
2節 就業適性を確保した適正就業の実現 .....	3
3節 安全と健康の確保と職場巡視	
1.3.1 働くことが原因で健康を損ねる事態は「絶対に」避ける .....	4
1.3.2 働くことが原因で持病が悪化する事態は避ける .....	5
1.3.3 病気が原因で働けないという事態は「できる限り」避ける .....	6
4節 産業医に求められる職務と産業医の立ち位置 .....	7
5節 職場巡視で5管理をスパイラルアップ .....	9
6節 職場巡視の歴史的背景 .....	11
7節 まずは現場へ出よう .....	13
8節 産業医は会社と現場の実態を知ろう .....	14

9節 焦らず急がず確実に～想像力と創造力、虎視牛歩～	15
----------------------------	----

## 2章 職場巡視の戦略とその実践

### 1節 巡視を見学で終わらせないために

2.1.1 なぜ、職場を巡視するのか	18
2.1.2 現場を知ることの利点	19
2.1.3 職場巡視の戦略的活用	20
2.1.4 作業者・作業現場から学ぶ姿勢	21

### 2節 職場巡視の実践

2.2.1 職場巡視のタイミング	22
2.2.2 職場巡視と一般健康診断・保健指導	22
2.2.3 職場巡視と特殊健康診断	23
2.2.4 職場巡視と復職判定・措置	24
2.2.5 職場巡視に役立つ付帯的な知識	25
2.2.6 他のスタッフとの連携	26

### 3節 おわりに

Column 産業看護職との連携	28
------------------	----

## 3章 職場巡視の方法

### 1節 職場巡視の方法1～定期の巡視

3.1.1 産業医が定期巡視をする意味	30
3.1.2 定期巡視を制度化する意義	30
3.1.3 定期巡視の活用	31
3.1.4 定期巡視に関するその他の重要事項	33
3.1.5 まとめ	34

### 2節 職場巡視の方法2～臨時の巡視

3.2.1 定期以外の職場巡視	35
3.2.2 臨時巡視の目的と着眼点	36
3.2.3 まとめ	39

### 3節 職場巡視に行く前に

3.3.1 はじめに	40
3.3.2 職場巡視の計画	40
3.3.3 職場情報の入手	41

3.3.4	装備	43
3.3.5	携行品	43
3.3.6	まとめ	44
<b>4</b>	<b>節 職場巡視の進め方</b>	
3.4.1	はじめに	45
3.4.2	職場巡視の実施・進め方	45
3.4.3	指摘の仕方	47
<b>5</b>	<b>節 職場改善</b>	
3.5.1	職場改善 —作業環境の改善方法—	49
3.5.2	職場巡視から対策立案までの流れ	49
3.5.3	具体的な対策とポイント	52
3.5.4	作業環境改善のまとめ	54
3.5.5	職場改善 —作業の改善方法—	54
3.5.6	作業の観察の視点	55
3.5.7	課題への対処の基本的スタンス	55
3.5.8	「作業効率」改善のヒント	57
3.5.9	作業改善の具体的な手法	58
3.5.10	作業改善は難しいのか	61
3.5.11	作業改善のまとめ	61
<b>6</b>	<b>節 巡視記録の作成方法とそのコツ</b>	
3.6.1	はじめに	62
3.6.2	産業医巡視記録を作成する意義	62
3.6.3	巡視記録の作成	63
3.6.4	次回に活かせる巡視記録作成のコツ	64
3.6.5	産業医職場巡視記録の提出先	65
3.6.6	職場巡視記録作成時の注意点	66
3.6.7	まとめ	66
	Column 労働組合・労働者代表組織との連携	67
<b>7</b>	<b>節 職場巡視結果の活用法</b>	
3.7.1	職場へのフィードバック	68
3.7.2	職場からのフィードバック	70

## 4章 巡視に役立つ知識

### 1節 巡視に必要な保護具の知識

4.1.1	保護具は身を守る「最後の砦」	74
4.1.2	職場巡視で保護具を見るポイント	75

4.1.3	主な保護具と巡視時の着眼点	76
4.1.4	その他の保護具について	86
4.1.5	管理面での確認	86
4.1.6	まとめ	87
<b>2節 職場巡視に役立つリスクアセスメント</b>		
4.2.1	リスクとそのアセスメント	90
4.2.2	リスクアセスメントの効果	91
4.2.3	リスクアセスメントの結果の活用	92
4.2.4	まとめ	94
<b>3節 業務上疾病の認定基準と職場巡視</b>		
4.3.1	業務上傷病の判断	96
4.3.2	因果関係の種類とその対応	97
4.3.3	職場巡視による健康状態悪化の防止	99
4.3.4	まとめ	100
<b>4節 職場巡視に必要な法的知識</b>		
4.4.1	職場巡視者に関する法的規定	101
4.4.2	危険有害職場での法的知識	102
4.4.3	行政指針等の対応状況の確認	102
4.4.4	その他	103
<b>5節 職場巡視に必要な法律活用の実際</b>		
		108
<b>6節 職場巡視に必要な産業安全の知識</b>		
4.6.1	労働災害発生の仕組み	112
4.6.2	直接原因への対策	113
4.6.3	安全管理体制（間接原因）への対策	115
4.6.4	まとめ	116
	Column ディーセント・ワーク（Decent work）	117
<b>7節 職場の簡易な評価と巡視での活用</b>		
4.7.1	作業環境の簡易測定	118
4.7.2	作業環境測定結果の読み方	125
4.7.3	有害要因の評価基準と巡視での活用	131

## 5章 有害要因別 職場巡視のポイント

### 1節 高所作業

5.1.1 はじめに .....	140
5.1.2 高所作業と健康影響 .....	140
5.1.3 高所作業の巡視の視点 .....	141
5.1.4 まとめ .....	144

### 2節 暑熱作業

5.2.1 はじめに .....	145
5.2.2 暑熱作業と健康影響 .....	145
5.2.3 暑熱作業の巡視の視点 .....	146
5.2.4 まとめ .....	152
Column WBGTとは .....	153

### 3節 酸素欠乏危険作業

5.3.1 はじめに .....	154
5.3.2 酸素欠乏危険作業と健康影響 .....	154
5.3.3 酸素欠乏危険作業の巡視の視点 .....	155
5.3.4 まとめ .....	157
Column 酸欠則における「硫化水素中毒」について .....	158

### 4節 腰痛作業

5.4.1 はじめに .....	159
5.4.2 腰痛作業と健康影響 .....	159
5.4.3 腰痛作業の巡視の視点 .....	160
5.4.4 まとめ .....	163

### 5節 上肢作業

5.5.1 はじめに .....	164
5.5.2 上肢作業と健康影響 .....	165
5.5.3 上肢作業の巡視の視点 .....	166
5.5.4 まとめ .....	167

### 6節 騒音作業

5.6.1 はじめに .....	168
5.6.2 騒音による健康影響 .....	168
5.6.3 騒音作業の巡視の視点 .....	168
5.6.4 まとめ .....	173
Column ① 音の単位「デシベル (dB)」について .....	174
Column ② 防音保護具の種類と選択 .....	174

## 7節 振動作業

5.7.1 はじめに	175
5.7.2 振動による健康影響	175
5.7.3 振動作業の巡視の視点	175
5.7.4 まとめ	178
Column ① 日振動ばく露量“A(8)”	179
Column ② 全身振動	180

## 8節 VDT 作業

5.8.1 はじめに	181
5.8.2 VDT 作業と健康影響	181
5.8.3 VDT 作業の巡視の視点	182
5.8.4 まとめ	185

## 9節 粉じん作業

5.9.1 はじめに	186
5.9.2 粉じん作業と健康影響	186
5.9.3 粉じん作業の巡視の視点	186
5.9.4 まとめ	189
Column ① 金属熱について	190
Column ② 特定粉じん作業について	190

## 10節 感染性物質取扱い作業

5.10.1 はじめに	191
5.10.2 病原体のハザードの評価	191
5.10.3 感染性物質取扱い作業の巡視の視点	191

## 11節 農薬取扱い作業

5.11.1 はじめに	195
5.11.2 農薬取扱い作業と健康影響	195
5.11.3 農薬取扱い作業の巡視の視点（散布中における事故防止）	196

## 12節 電離・非電離放射線取扱い作業

5.12.1 はじめに	199
5.12.2 電離放射線と健康影響	199
5.12.3 電離放射線作業の巡視の視点	200
5.12.4 非電離放射線	201
5.12.5 非電離放射線と健康影響	201
5.12.6 非電離放射線作業の巡視の視点	204
Column 電離放射線の単位について	206

<b>13 節 有機溶剤取扱い作業</b>	
5.13.1 はじめに	207
5.13.2 有機溶剤と健康影響	207
5.13.3 有機溶剤の特質に基づいた巡視の視点	208
5.13.4 まとめ	213

<b>14 節 特定化学物質取扱い作業</b>	
5.14.1 はじめに	214
5.14.2 特定化学物質と健康影響	215
5.14.3 特定化学物質取扱い作業の巡視の視点	216
5.14.4 まとめ	218

## 6章 業種・職種別 職場巡視のポイント

<b>1 節 設備工事業</b>	
6.1.1 はじめに	220
6.1.2 設備工事業の有害要因	220
6.1.3 設備工事現場の巡視の視点	221

<b>2 節 卸売・小売業</b>	
6.2.1 はじめに	225
6.2.2 卸売・小売業の有害要因	226
6.2.3 卸売・小売業の巡視の視点	227

<b>3 節 食料品製造業</b>	
6.3.1 はじめに	229
6.3.2 食料品製造業の有害要因	229
6.3.3 食料品製造現場の巡視の視点	231
6.3.4 まとめ	233

<b>4 節 金属製品製造業</b>	
6.4.1 はじめに	234
6.4.2 金属製品製造業の有害要因	234
6.4.3 金属製品製造現場の巡視の視点	234
6.4.4 まとめ	236

<b>5 節 プラスチック製品製造業</b>	
6.5.1 はじめに	237
6.5.2 プラスチック製品製造業の有害要因	237
6.5.3 プラスチック製品製造現場の巡視の視点	237

<b>6節 機械器具製造業</b>	
6.6.1 はじめに	240
6.6.2 機械器具製造業の有害要因	240
6.6.3 機械器具製造現場の巡視の視点	240
6.6.4 まとめ	242
<b>7節 電子部品（電子回路）製造業</b>	
6.7.1 はじめに	243
6.7.2 電子部品製造業の有害要因	243
6.7.3 電子部品製造現場の巡視の視点	244
6.7.4 まとめ	246
<b>8節 窯業・土石製品製造業</b>	
6.8.1 はじめに	247
6.8.2 窯業・土石製品製造業の有害要因	247
6.8.3 窯業・土石製品製造現場の巡視の視点	248
6.8.4 まとめ	251
<b>9節 印刷業</b>	
6.9.1 はじめに	252
6.9.2 印刷業の有害要因	252
6.9.3 印刷現場の巡視の視点	252
Column 印刷業で多発した胆管がん	255
<b>10節 運輸業</b>	
6.10.1 はじめに	256
6.10.2 運輸業の有害要因	257
6.10.3 運輸業の巡視の視点	257
6.10.4 まとめ	258
<b>11節 ライフライン事業（電気・ガス・熱供給・水道業）</b>	
6.11.1 はじめに	259
6.11.2 ライフライン事業の有害要因	259
6.11.3 ライフライン事業の巡視の視点	260
6.11.4 まとめ	261
<b>12節 鉄鋼業</b>	
6.12.1 はじめに	262
6.12.2 鉄鋼業の巡視の視点	262
6.12.3 まとめ	265



<b>13 節 化学工業</b>	
6.13.1 はじめに	266
6.13.2 化学工業の有害要因	266
6.13.3 化学工業の巡視の視点	266
<b>14 節 研究施設</b>	
6.14.1 はじめに	272
6.14.2 研究施設の有害要因	272
6.14.3 研究施設の巡視の視点	272
<b>15 節 医療・保健衛生</b>	
6.15.1 はじめに	275
6.15.2 医療・保健衛生の有害要因	275
6.15.3 医療・保健衛生の巡視の視点	276
6.15.4 まとめ	277
<b>16 節 地方公務員</b>	
6.16.1 はじめに	279
6.16.2 地方公務員職場の有害要因	279
6.16.3 地方公務員職場の巡視の視点	279
<b>17 節 事務職場</b>	
6.17.1 はじめに	284
6.17.2 事務職場の有害要因	284
6.17.3 事務職場の巡視の視点	284
<b>18 節 支店営業所</b>	
6.18.1 はじめに	287
6.18.2 支店営業所の有害要因	287
6.18.3 支店営業所の巡視の視点	288
6.18.4 まとめ	290
Column 情報通信業（IT の職場巡視）	291

## 7章 特殊健康診断と職場巡視

<b>1 節 特殊健康診断結果の解釈</b>	
7.1.1 特殊健診での「異常所見」	294
7.1.2 健康影響指標とばく露指標	294
7.1.3 作業条件の簡易な調査と職場巡視	296
7.1.4 検査結果の集団としての評価と職場巡視	296
7.1.5 生物学的モニタリング結果の評価に際して考慮すべき事項	296

7.1.6	ばく露の有無の判断	298
Column	N・N-ジメチルホルムアミド（DMF）について	299
<b>2節</b>	<b>作業条件の簡易な調査と作業条件の調査によるばく露の把握</b>	
7.2.1	有害物のばく露評価方法	302
7.2.2	作業条件の簡易な調査	302
7.2.3	作業条件の調査	303
7.2.4	ばく露調査の種類	306
7.2.5	調査に際しての注意事項	307
<b>3節</b>	<b>有所見者への対応</b>	
7.3.1	はじめに	308
7.3.2	健康診断結果の説明	308
7.3.3	健康診断結果の原因の探求（異常所見が認められた場合）	308
7.3.4	健康診断結果に基づく事後措置	309
7.3.5	まとめ	311
<b>4節</b>	<b>有所見者が発生した職場への対応</b>	
7.4.1	事後措置が必要となる場合	312
7.4.2	特殊健診の異常所見の原因探求	312
7.4.3	緊急性に応じた職場への対応	312
7.4.4	職場への事後措置の実施	314
7.4.5	まとめ	316
<b>5節</b>	<b>法定外化学物質の特殊健康診断</b>	
7.5.1	特殊健康診断の実施に至るまで	317
7.5.2	ばく露状況を把握するための手順	318
7.5.3	法定外の検査項目実施の判断	318
7.5.4	まとめ	320
Column	労働安全衛生法 第28条の2	321
<b>付録（巻末資料）</b>		
	基本用語一覧	325
	産業医職場巡視チェックリスト	
	有害要因別チェックリスト	331
	業種・職種別チェックリスト	347
	職場巡視記録例	367
	キーワード索引	373
<b>産業保健ストラテジーシリーズ ～全巻通じての理念～</b> I		